

公益社団法人日本ビリヤード協会
令和 6 年度 定時総会 議事録

1. 日時 令和 6 年 6 月 25 日（火） 13：00～17：30
2. 会場 日本スポーツオリンピックスクエア 3 階 2 号会議室
3. 出席者 南部利文、峰大祐、武田淳史、関根沙織、森博史、岡田將輝、梅田竜二、鈴木剛、
西尾祐、前田八郎、石川一郎、久慈薫(監事) 以上役員・敬称略
安藤敏浩、板橋克典、奥村りか、甲斐譲二、黒川隆、小松英隆、新谷啓一郎、船木翔太、
水野五司、森陽一郎、山根隆生 以上正会員・敬称略

記録 星野裕彦(本部事務員)、正見峻(本部事務員)

4. 開会 理事長挨拶
5. 定足数確認 議決権を有する当法人の現正会員総数 173 名につき議決権総数 173
本総会における有効議決権数 118、内訳は次の通り
・当日出席者 23 名による議決権数 23
・当日出席者への代理委任による議決権数 54
・議決権行使書による議決権数 41
従って、定款の定める決議成立要件たる定足数を満たす。
6. 議長選出 南部利文理事長が議長に選出される。
7. 議事録署名人選出 議長の他、安藤敏浩正会員および森陽一郎正会員の 2 名が選出される。

8. 議事

議事本題に先立ち、前田専務理事と北川監事について、それぞれ体調不良のため定時総会への出席が
かなわない旨、南部理事長が報告。また、梅田理事については、一身上の都合により中途からの議場
着席となる旨を付言。全役員が揃って開会に臨めない状況を説明し、陳謝の意を表明。

(1) 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告【審議事項】

令和 5 年度事業報告書上程案を事務局が代読した後、南部理事長が補足説明。理事会を代表して
以下要旨の所見を示す。

- ・ VISION2030 プロジェクトの推進に於いては、主担当である前田専務理事の機能を欠く状況
を実務的に解決する人員体制を理事会で構築できず、具体的な進捗成果を報告できる結果に
至らなかった旨を反省し、役員改選後の新体制下で確実な稼働と進捗を得るべく整備したい。
- ・ 財務状況が厳しい中、積極的な取り組みの維持を念頭に、海外派遣事業の実施にあたった。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、CS 選手会員登録数が 5000 人を超えるまでに復活したことは明るい材料であると認識している。
- ・ 令和 5 年度末迄の整備にあたるべく代表者会議で表明した個別委員会の所掌に関する規程については、以降、新規制定に向けた進捗が得られず、業務執行不良のまま期日を迎える経過となった。業務運営と実務執行の監督管理が不十分で、理事会として機能不全に陥った結果に陳謝したい。新役員体制の下、早急に取り組むべき課題として整備を進める所存である。
- ・ 本部が主催する佐賀国スポ記念大会の監督指導に於いては、人的資源の不足により、国スポ関連対策部会長が 1 人で担当している状況が解消できず、適正な事業の遂行を管理する上で支障をきたし、混乱を招く結果となったことを陳謝したい。役員改選後の新体制下で、部会を解散して理事会で機能を承継する方向性を視野に入れ、国スポ関連事業管理体制の見直しを早急に図る方針である。

質疑応答に移る。

1. 当初の VISION2030 工程表では、中長期計画策定を理事会承認の下で完了し、計画に基づく施策の稼働に移る時期が 2023 年 9 月に設定されていた。新型コロナウイルス感染症の影響による遅滞を織り込み済みの前提で、計画策定の端緒となる未来会議の人員確保と予算付まで理事会決議されたと認識するが、未だに実施されていない事情を釈明頂きたい。(山根正会員)
 - 専務理事が適切な趣旨の下で工程に沿って担当する方針であったが、指示が出せない状況が続いていた結果である。役員改選後にあらためて人員再配置を検討したい。(南部理事長)
 - 最高責任者を南部理事長に人員配置され職責所在の整理は完了していた。実務統括担当者の早期現場復帰が見込めない状況にありながら上位管理者の監督的指導に基づく具体的措置を全く取られなかった職責の不履行が業務停滞の原因と言わざるを得ない。(山根正会員)
2. 代表者会議で示された 2024 年 3 月 31 日を期限とした個々委員会規程の整備について、進捗状況の詳細な報告を要請したい。(山根正会員)
 - いずれの委員会規程も作成に至らなかった。(南部理事長)
 - 日限不履行と成果未達に対する危機感をもった組織的対応が行えず、属人性の高い業務執行体制を容認する理事会の施策決定に対し疑義を表明させて頂く。成果を望むべく、組織体制を改善すべき点に異論の余地は無いことを指摘させて頂く。(山根正会員)

他に質疑がないことを議長が確認し、上程された令和 5 年度事業報告書案の採決に移る旨、議場に宣言する。本議案は満場一致にて承認された。

(2) 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告、及び監査報告【審議事項】

南部理事長より令和 5 年度決算報告書及び付属資料の読み上げと内容説明。以下、内容説明要旨。

- ・ 現所在地である JSOS に移転した当時、前提条件として、寄附・スポンサー獲得をもって地代の支出増加を賄うことを約束した経緯があるが、未だに履行できていない現状に謝罪したい。前提条件の約束を反故にせざるを得ない状況については容易に打開できないことを理解頂き、改定後の CS 会員登録費増収分をはじめ、正会員や加盟団体からの会費収入の一部から充当する結果となっていることを容認頂きたい。

- ・ 参照資料の別表に於ける CS 会員登録会費収入金額が収支決算報告書との間で差異が生じているが、参照資料に説明の添付が間に合わなかったことをご容赦頂きたい。
- ・ 雑収入に予算組みされていた関東支部による 36 万円の納金に関して、期末まで確認を怠り期内未収扱いで処理する結果となった旨を陳謝したい。本総会開催前には、過年度分として本年度分と併せて領収させて頂いた。今後の再発防止策として、期首請求の発行を行う方針としたい。

質疑応答に移る。以下、主な質疑の要旨。

1. 関東支部の雑収益計上分の未納が発覚した時期を確認したい。(山根正会員)

→ 期を跨いで 4 月に入った時点となった。(南部理事長)

→ 予算書と決算書の勘定科目が揃わずに振り分けが為されたまま修正が施されていない。予算作成時の積算検証の粗さに起因することが伺える。予実対比が困難である経理状況が早期に改善されるべきと見解させて頂く。委託会計事務所との調整や会計管理シートの見直し等を施し、勘定科目設定の統一を進めて経理省力化に繋げ、予算執行状況の確認精度を高めるよう要請させて頂く。(山根正会員)

→ 了承。(南部理事長)

2. 特定費用準備資金 450 万円の対象となる事業名を確認したい。(山根正会員)

→ 今期開催予定の AIMAG アジアインドア&マーシャルアーツゲームである。(南部理事長)

→ 最初の 2021 年 AIMAG 延期に際して遊休財産保有制限へ抵触しかねなかった経緯も踏まえ、特定費用準備資金の捻出元であるビリヤード普及事業振興協力金の長期運用計画を設定する必要性を示唆させて頂く。(山根正会員)

議長が、他に質疑が無い旨を確認。久慈監事より会計監査の適正履行報告がなされる。

採決に移る旨を議長が宣言し議場に諮った結果、決算報告と監査報告は異議なく承認された。

(3) 第 3 号議案 役員改選<役員候補者選任>【審議事項】

本定時総会終結時を以って全役員任期満了となるため役員改選が必要となる旨、議長である南部理事長が説明。任期満了後の再任を辞する意向の表明がなされている北川幸夫監事を除く現役員全員を重ねて推薦候補者とする理事会決議に基づき、理事 12 名と監事 1 名から成る役員体制を本議場に諮りたい旨を示す。また、笠原一也相談役に引き続き同役職を委嘱し、退任後の北川幸夫現監事にも相談役を委嘱したい旨、議場に示す。

各役員候補者については、個別の承認可否採決に先立ち、議場に可否判断の材料を供する目的で、委員会等に置ける担当業務内容と実績及び自身の貢献し得る資質についての表明がなされる旨を付言。議場欠席となった前田専務理事については、事前に預かった書面の代読を以って所信の表明とさせて頂く旨、南部理事長が告げる。

以下、理事候補者の個別審議内容の主旨。敬称略。

1. 南部利文

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 課題解決に於いて 2 年間の成果が芳しくなかった点に代表者として責任を感じる。財政的な問題や人材の問題もあるが、各団体はそれぞれが独自に活動の方向性を有しており、理事会もその状況を反映しており、組織全体を横断して纏め上げる施策を理事会で決定するに至る過程が困難であることは理解して頂きたい。過去から続く経緯に沿わず方向変換する施策は許容され難いが、代表者の経営判断が直接反映され得る組織構造では無く、そうすべきでも無いという認識がある。協議の場で導かれた結論に則り機能する理事会を代表して、成果を得るべく纏め上げる職務を継ぐ所存で臨ませて頂きたい。

以下主旨の質疑応答。

- ・ 現状改善に繋がる前向きな成果が得られていない現状に不満を抱える選手会員や域内店舗に本部主導による施策の実態と成果を提示することができない支部組織の立場から、現体制を継続維持する中で成果が得られる見込みに関する展望を示して頂きたい。(安藤正会員)
→ 理事会で扱う組織全体の問題については、加盟団体の協力が得られなければ本部の施策方針が纏まらない。本部方針が纏まる方向性への理解と協力を頂けるよう、各加盟団体の関係者に要請させて頂くと同時に、その趣旨を以って本部役員の立場で参画を名乗り出て頂ける方を歓迎したい。(南部理事長)
→ 本部理事にない立場にあっても、組織が良い方向に向かう事業や施策には積極的に関わって応援させて頂く所存である。本部理事会機能による成果発現を期待したい。(安藤正会員)
採決の結果、可 107 否 11 にて承認。

2. 峰大祐

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 本部ジュニア対象事業を推進するあたり運営主管との連携を司り、事務局と協働して内容の整備にあたる他、財務に関する経営的な観点からも本部に寄与すべき責務を自覚している。副理事長として必要な際に事務所に赴き、本部業務全般をサポートさせて頂いてきた。
採決の結果、可 115 否 3 にて承認。

3. 前田義孝

以下主旨の所信を南部理事長が代読。

- ・ 長期の体調不良で専務理事の職務執行と担当する規程整備と中長期計画策定の進捗に支障をきたしたことを深謝したい。早期完全回復に専心すると同時に、遅れを取り戻すべく徐々に職務に復帰させて頂く所存である。
採決の結果、可 107 否 11 にて承認。

4. 武田淳史

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 医学的な知見を有する立場からアンチ・ドーピング活動やアスリートの健康管理の面で寄与すべき責任があると認識している。承認 Educator の立場を JADA から得て、組織内の啓蒙活動に貢献させて頂く方針である。

以下主旨の質疑応答。

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策やアンチ・ドーピング活動に於いて専門家としての貢献度は計り知れない。医学的見識を活かす分野に的を絞って注力して頂く為に、全般的な組織運営責任を免れる理事以外の立場で貢献して頂くことが適切ではないかと考える。(山根正会員)
- 医学的領域に携わる専門理事としての組織に貢献することが本意であるが、課題が山積する現状に於いては、理事会を構成する一員として専門外の案件に対しても問題意識を共有しなければならぬ責務は理解しており、理事会運営責任の一翼を担わざるを得ない立ち位置は承知の上で覚悟すべきものと受け止めている。(武田理事)

採決の結果、可 107 否 11 にて承認。

5. 関根沙織

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 国スポ関連事業を主に担当してきた。佐賀記念大会の適性確保について、自身の指導と監督が及ばなかった点を反省している。本部の外核に位置する組織と連携を取りつつ、普及活動に貢献させて頂く所存である。

以下主旨の質疑応答。

- ・ 理事として貢献し得る自身の資質について、自己分析を伺いたい。(山根正会員)
- 物事を推し進める行動力を自身の長所と認識している。(関根理事)

採決の結果、可 106 否 12 にて承認。

6. 森博史

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ BCJ との連携を視野に入れつつ、本部が関わるべき普及事業の新規開拓に注力したい。前田専務理事をサポートすべき VISION2030 プロジェクトの一員としても、起動される未来会議の在り方に対する意見の具申を含め関与させて頂く所存である。

議場に於いて以下主旨の質疑応答

- ・ 理事として貢献し得る自身の資質について、自己分析を伺いたい。(山根正会員)
- 他競技団体の参画経験と支部運営実績から、理事会や組織全体に寄与し得る意見を積極的に発信できる知見を備えていると認識している。(森理事)
- 直近 10 年の全日本ジュニアナインボール選手権大会と全日本学校対抗ナインボール選手権大会、それぞれ 8 大会に対して、代表者として所属する四国支部からの選手派遣実績が通算で 1 回に留まっており、支部域内の普及活動実績として芳しくない。全国レベルでの普及に携わっていく覚悟を示した本部理事としての所感を伺いたい。(山根正会員)
- 四国支部域の若年層が極めて薄い環境下に於いては力が及ばず、成果を示すに至らなかった。已む無き結果でもあり、弁明に供することができる内容はない。(森理事)

採決の結果、可 107 否 11 にて承認。

7. 岡田将輝

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ アンチ・ドーピング活動と派遣選手選考について一委員として改善すべき課題の解決に注力したい。上場企業で役員迄を務めた経験から、組織運営に対してはマクロとミクロの両観点から貢献できると認識している。個別案件で任された範囲に対して、企画段階から取り組み総合的な成果をあげさせて頂けると自負している。

採決の結果、可 115 否 3 にて承認。

8. 梅田竜二

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 普及活動による底辺拡大に地域的な成果をあげてきた実績を活かし、登録会員数増加による経営基盤強化に繋げられるよう貢献したい。

議場に於いて以下主旨の質疑応答

- ・ 海外派遣対象選手として活躍されており、実際に令和 5 年度の 2 国際大会において選手強化 NF 事業助成対象選手であった。現役選手としての活躍は競技の発展に寄与する明るい材料として評価したいが、助成金の支給者と受給者の両方の兼ねる立場にあって、公金私的流用に繋がり得るガバナンス上の懸念があると考えているが、見解を伺いたい。(山根正会員)

→ 選手強化 NF 事業は JSC による厳正な審査および申請手続きの下に行われる事業であり、懸念する事態は起こり得ない認識であるが、助成金の支給と受給の両方に携わる位置付けの立場の両方に帰属している事実が危険を孕んだ状態という自覚は備えている。(梅田理事)

→ 選手活動に専念すべく期待されるほどの実績を積んでいる状況にあって、敢えて理事として組織運営責任を問われる立場に身を置く選択をする以上は、選手活動に軸足が残っているが故に生じた行為と揶揄され得る事例が生じないよう、相応の覚悟をもって取り組んで頂き、理事としての成果を上げて頂きたい。(山根正会員)

→ 了承。(梅田理事)

採決の結果、可 115 否 3 にて承認。

9. 鈴木剛

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 実務処理よりも対面での関係性構築に自身の強みがあるので、スポンサー獲得などで成果があげられるよう、組織に貢献させて頂きたい。

採決の結果、可 107 否 11 にて承認。

10. 西尾祐

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 進行中のプール部門のルール改訂に一委員として携わっている。全国から意見集約を終えた段階で、今後の組織改善に向けた材料も得ることができ、会員層を拡げる上で有効な提案ができると認識している。数字分析による洞察力を活かして組織に貢献させて頂きたい。

採決の結果、可 115 否 3 にて承認。

11. 前田八郎

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 協会組織で運営されている事業については詳細を学ばせて頂いている段階である。事業運用内容に対する関与よりも、弁護士として有する一般的な法律知識に基づき、組織内で抱えている課題の解決に貢献することを自身の務めとさせて頂きたい。先ずは、その務めに於ける理事としての責任をしっかりと全うする所存である。

採決の結果、可 115 否 3 にて承認。

12. 石川一郎

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 海外滞在経験があり、グローバルな課題の取り組みにはコミュニケーション面で貢献させて頂けるものと認識している。専門はデジタル分野なので、時流から求められる組織内の改革に貢献できるよう、この分野における知見を活かしたい。

採決の結果、可 115 否 3 にて承認。

以下、監事候補者の個別審議内容の主旨。敬称略。

13. 久慈薫

以下主旨の候補者としての表明。

- ・ 自身の資質である強い正義感に基づき、法人運営が正しく為されるよう、積極的に管理監督させて頂く所存である。

議場に於いて以下主旨の質疑応答

- ・ 予算関連資料の作成手順は、公益認定以前の旧様式にて作成された後に、委託会計事務所に依頼して平成 20 年度改正公益法人会計基準に準拠した収支予算書に置き換えられることで、完成に至ると伺った。予実対比の簡便さと作業時間の効率化を図るべく、勘定科目の統一を行い内訳や分類を明確にして頂くよう既に進言させていただいた通りだが、その修正過程に於いては、前会計担当理事としての指示を監事として必要な最低限に留め、現会計担当理事及び経理担当者の判断に一任し、作成後の監査に徹して頂くべきである。(山根正会員)

→ 了承。(久慈監事)

- ・ 佐賀記念大会の運営組織が協会組織の傘下に組み込まれていることを確認していない段階で、主管と扱い事業を委ねる経過となった旨、理事長に確認させて頂いた。事業運営を管理する手順に於いては、組織に重大な損失をもたらす得る看過できない手落ちと云わざるを得ない。国スポ関連事業の前任担当者でもあった点も考慮に入れると、監事としての監督管理機能がここに働かなかつた点を重く受け止めて頂く必要がある。(山根正会員)

→ 担当者はもとより理事会としても重く受け止め、佐賀デモスポが適正な過程を踏まえた上で開催されるよう取り組んで行きたい。(南部理事長)

採決の結果、可 107 否 11 にて承認。

以上を以って 13 名の候補者について個別審議を終える。当日出席の被選任者 12 名は全員が席上で就任を承諾。当日欠席者 1 名は就任承諾書の提出を以って就任となる。本議案は理事会が上程した原案リストに供された候補者全てについて承認を得た。

続いて、相談役候補者 2 名の選任についての個別審議に移る。議長が議場の採決を求めた結果、笠原一也氏と北川幸夫氏の両名が、それぞれ満場一致にて承認を得た。

本議案に関連し、以下の質疑応答が為された。

- ・ 理事会機能が奏功していない認識が共有されている点に危機感を抱くところであるが、役員候補者選定過程の詳細を新陳代謝の観点から伺いたい。(板橋正会員)
 - 新任役員擁立を改選時に必須の課題とはしていないが、候補者となりうる人材を発掘すべく関係団体等への声掛けを継続している。(南部理事長)
 - 個人的な見解であるが、各地域別加盟団体を代表する形で理事を設置することで、地方との関係強化にも繋がり、ビリヤード界全体の活性化に効果があると考えている。(森理事)
 - 加盟団体要職者の本部理事就任については利益相反に留意すべき前提に立って頂く必要がある。また、本部理事会へのオブザーバー参加を可能とする仕組みの構築や本部代表理事による加盟団体理事会へのオブザーバー参加が、組織に推進力をもたらす人材発掘に向けても極めて有効であり、繰り返し前向きな検討を要請させて頂きたい。(山根正会員)
- ・ 改選前の役員構成を引き継ぐにあたり、この 2 年間の活動状況を振り返って頂く必要がある。各理事について、理事長との間で為された業務連絡の頻度を伺いたい。(山根正会員)
 - (理事会開催以外の場では、火急の課題を抱える状況と認識がある場合を除いて、連絡頻度が月に僅かである状況を確認した上で、) 適所に配置した人材と密接なコミュニケーションを取り、自身の采配の下で活用することは首長の使命の 1 つと考える。加盟団体の利益相反が潜在する中で本部理事会運営を纏める立場が困難であるのは自明であるからこそ、新理事長には、理事会の機能停滞が解消し迅速な成果が得られるよう、理事会協議に委ねる前の調整と準備に尽力頂けるよう、期待させて頂く。(山根正会員)

(4) 第 4 号議案 正会員規程の改訂【審議事項】

南部理事長の要請により、峰副理事長より正会員規程上程案の読み上げに加え、定款との整合性に関する説明が為される。正会員規程に付随する正会員入会手順書の作成および改訂された内容は、法人法上の社団社員である弊会正会員の扱いに関する内閣府や弁護士の見解を随時に仰いで作成を進めた経緯を南部理事長が付言し、議長として議場に質疑を求める。

特段の質疑がないことを確認し、採決に移る旨を議場に宣言。本議案は満場一致で承認された。

(5) 令和 6 年度事業計画【報告事項】

議長の要請により事務局が代読し、南部理事長が補足説明を行う。以下、補足説明の要旨。

- ・ 加盟団体代表者会議に於ける国内大会事業の調整に備えて、機能面を整備する一環として、大会スケジュール事前入力フォームの刷新作業を進めている。2024 年 11 月開催予定の代表者会議から運用することを予定している。
- ・ CS 会員登録システムについては、令和 5 年度加盟団体代表者会議で報告した通り、現行制度の仕組みを据え置く前提で、新システムへの移行準備を進めている。

- ・ 補助金収入については、各種目の主要国際大会海外派遣に際し活用してきた助成金の大幅な削減が避けられない状況が継続している。事業維持には支出削減が必要であり選手自己負担を求める方針を継続させて頂く以外に現状では打開策が無い。本総会の場合を借りて、施策にご理解を頂きたい。

質疑応答に移る。以下、要旨。

- ・ 令和 5 年度定時総会にて北海道支部を代表し、CS 会員登録の機会損失の減少を期待できる手法として有効期限設定を見直しする方向性を提案させて頂いた。本総会では採択可能性の回答を頂けなかった為、加盟団体代表者会議の際に回答を頂きたい。(小松正会員)
 - 登録時から 1 年間に有効期限設定を変更することは、CS 会員登録者の増加を見込める効果が大いと考え。前向きに検討して頂きたい。(安藤正会員)
 - 見解を共有させて頂き、理事会に持ち帰り可能性を追求したい。(西尾理事)
- ・ 体育の日はスポーツの日に名称が改まった。留意と訂正を要する。(山根正会員)
- ・ 全日本ジュニアインボール選手権大会は、引き続き、JOC ジュニアオリンピックカップの冠名を戴いて開催される認識に間違いが無いか確認させて頂きたい。(山根正会員)
 - 現状に於いては認識頂いている通りで変更は無い。(事務局)
- ・ 佐賀記念大会の開催に於いて管理監督機能が奏功せず混乱を招く結果となった事態を受けて、国スポ関連事業対策を現行部会に委ねる形態を見直す必要が生じているという認識で間違いがないか確認したい。(山根正会員)
 - 総会直後の理事会で、ゼロベースで見直し協議を行う予定である。(南部理事長)
 - 開催が 8 月 4 日に迫っている佐賀デモスポに向けた適性確認作業は、理事会開催を待たずに履行して頂かなければならない。協会組織全体が協調して推進する事業の管理監督に任たる立場に於いて、行政との連携状況を確認し、運営主管を委ねる上で必要な傘下組織としての適性に瑕疵がみられる要素は九州支部と連携して全て解消した状態に整備して頂く必要がある。事業を引き継ぐ後催県に於いて、行政や組織委員会から組織ガバナンス体制を問題視されかねないような過去を残すことがないように、対処して頂きたい。(山根正会員)
 - 了承。(南部理事長)

他に質疑がないことを議長が確認し、議事を終える。

(6) 令和 6 年度予算【報告事項】

南部理事長による収支予算書の読み上げに続き、質疑応答に移る。

- ・ 旧様式との関連性を含め、新基準様式に準拠した資料での説明が要領を得ず、時間の浪費に繋がっている。予算書と決算書に於ける勘定科目分けを統一化し、総会資料に於いて対比が明瞭になるよう、整理を改めて要請させて頂く。(山根正会員)
 - 了承。(南部理事長)

他に質疑がないことを議長が確認し、議事を終える。

(7) その他

議長である南部理事長が議場に発言を求める。以下、議場に於ける協議の要旨。

- ・ 関西地区で令和 6 年 4 月に開催されたプロ組織運営のアマチュア対象大会の会場にて、運営に携わっている立場に於ける社会規範として好ましからざる行為があったと報告を受けた。コンプライアンス以前の問題ではあるが、組織の競技面の顔となる存在であることを自覚し、品位ある言動を心得て頂きたく、この場を借りて苦言を呈させて頂く。(山根正会員)
→ 選手のモラルは競技の社会的評価に直結する。反省して改めて頂きたい。(南部理事長)
- ・ 関根理事が JAPA 会長職を受諾した際、自身が JAPA の規定する要件を満たした上での就任であったか、前田八郎理事の法的観点に抛る適否見解を確認して示して頂けるよう、改めて要請させて頂く。(山根正会員)
→ 関根理事から資料を提供頂いて、早急に対応したい。(前田八郎理事)
- ・ プール部門以外について、ルールブック改訂の進捗状況を伺いたい。(安藤正会員)
→ キャロム部門の改訂内容は作成済であるが、修正の下敷きとなる原版データの所在が不明となっているため停滞している。改定内容は本部事務局と共有済である。(鈴木理事)
→ スヌーカー部門は作成済である。(事務局)
- ・ 神奈川支部内に所在する県立高校で選択教科に採用されることが決まった。今後も若年層への普及活動に支部内の人的資源を活用して可能な注力し、本部の普及活動の実働部隊として貢献させて頂けるものと考えているが、設備や用具の投資が必要となるので、本部による支援施策を前向きに検討して頂きたい。(安藤正会員)

9. 閉会

議長は本総会の議事が終了したことを確認し、閉会を宣言。

10. 役員体制の報告

議場に於いて、総会出席者同席のもと、役員編成について下記の通りの報告がなされた。

- ・ 理事長 南部利文
- ・ 副理事長 峰大祐

両名より新体制を代表して就任の挨拶がなされた。


対象者欠席の為、専務理事の選定は後の理事会に於ける互選に委ねられる旨が報告された。

以上を以って、解散となる。

定款の規定する処に拠り、本議事録の記載内容の公正を期す為、議長及び選出された出席正会員2名が次に署名・捺印する。

議長 南部利文 

署名人 安藤敏浩 

署名人 森陽一郎 

訂正印



訂正印



訂正印

